

令和8年度人権問題体験学習会 開催校の募集について

公益財団法人 東京都人権啓発センター

■人権問題体験学習会の概要

当センターでは、学校における人権教育に関する支援事業として、体験的要素を含む学習会（ワークショップ等）及び交流的要素を含む学習会（講演等）を実施いたします。

この事業は、児童・生徒等の人権に対する興味の喚起と、人権問題についての知識の普及を目的とし、学校における人権教育と連携して実施するものです。実施にあたっては、学校からの申込みに基づいて内容を検討し、実施の可否を決定の上、学習会をコーディネートいたします。

■実施内容等

次ページからのプログラムをご参照ください。ご紹介しているプログラムを参考にご相談の上、実施内容を決定いたします。

■申込方法

WEB フォームまたはEメール

■申込受付開始日

2026年4月1日（水）

■実施決定

申込み多数の場合は、実施時期・テーマ等を調整の上、実施する学習会を決定します。開催日程順に順次調整してお知らせいたします。

【申込みに関する注意点】

- ・原則として、開催希望日の1ヶ月前までにお申し込みください。
- ・1学期については**5月7日（木）**以降の実施とします。
- ・調整の結果、お断りする場合があります。
- ・より多くの学校で実施するため、年度につき、1校1回（1プログラム）の実施とします。
- ・申込みの状況によっては、早めに募集を終了する場合があります。

■費用負担

開催に係る費用は当センターが負担します。ただし会場使用料や、当センターの謝礼規定額を超過する金額が発生した場合は、事前調整の上、学校側に費用の一部負担をお願いすることがあります。

■申込み・問合せ先

公益財団法人 東京都人権啓発センター 普及啓発課 体験学習会担当

WEB フォーム：<https://form.run/@TG-R8>

Eメール：gakushukai@tokyo-jinken.or.jp

〒105-0014 東京都港区芝 2-5-6 芝 256 スクエアビル 2階

電話：03-6722-0085

ホームページ：<https://www.tokyo-jinken.or.jp/>



▲WEB フォームは
こちらから

【体験人数… ◎ 望ましい ○ 可能 △ 応相談】

バリアフリー／ユニバーサルデザイン学習会

テーマ
【障害のある人、高齢者、外国人、バリアフリー】

障害やバリアフリー、ユニバーサルデザインについて、当事者のお話や具体的な事例・取組を通して、学びを深めます。

実施内容：障害とバリアフリーについての講話、街中の取組事例紹介、ユニバーサルデザイングッズの体験など

講師：(公財)交通エコロジー・モビリティ財団
体験人数：クラス単位◎ 学年単位○ 全校対象△
時間：1回45分～90分程度



視覚障害者とともに学ぶ

テーマ
【障害のある人】

視覚障害者の生活について、当事者のお話や様々な体験、便利グッズの紹介を通して学び、障害理解や共生社会について考えます。

実施内容：視覚障害者との交流、歩行介助体験、目隠しおりがみ体験、点字体験など

講師：中山 利恵子さん(視覚障害者)
体験人数：クラス単位◎ 学年単位○ 全校対象△
時間：1回90分程度

ほじょ犬学習会

テーマ
【障害のある人、補助犬】



補助犬を切り口とし障害理解・多様性理解について、当事者のお話を聞きながら学ぶ学習会です。補助犬のデモンストレーションや映像で学習を深めます。

実施内容：障害や補助犬についてのお話、ユーザーによる補助犬デモンストレーション、映像視聴など

講師：松本 江理さん(聴覚障害者)、日本補助犬情報センター
体験人数：クラス単位◎ 学年単位◎ 全校対象○
時間：1回90分程度

大声でも、伝わらないのはなぜ？

テーマ
【高齢者、障害のある人】

音や映像を用いた「難聴の聞こえ方体験」から、高齢者や難聴のある方とのコミュニケーションを学ぶ参加型授業です。大声に頼らない“伝わる工夫”を体感し、今日から使えるポイントを身につけます。

実施内容：難聴に関するお話、映像視聴など

講師：CLEAR JAPAN 宮谷 真紀子さん(軽度難聴者)
体験人数：クラス単位◎ 学年単位○ 全校対象△
時間：1回90分程度



アイヌ文化体験学習会

テーマ
【アイヌの人々】

アイヌ民謡の合唱や踊り、刺繍・木彫り・料理・伝統文様づくり体験など、アイヌ文化を体験しながら学ぶ学習会です。



実施内容：アイヌ文化についての講話、アイヌ民謡の合唱や踊り、刺繍・木彫り・料理・伝統文様づくりなどの体験

講師：宇佐 照代さん(アイヌ文化活動アドバイザー)
体験人数：クラス単位◎ 学年単位○ 全校対象○
時間：1回90分程度

多文化共生体験学習会

テーマ
【外国人、多文化理解】

「いろいろな国の文化を知ろう」「地域の外国人となかよくなる」「違いを知る」を目標に、様々な国の人と日本人スタッフがペアになって授業を行います。

実施内容：2言語の読み聞かせ、外国語で歌を歌う、文化体験、写真・動画を使った国の紹介など

講師：多言語絵本の会 RAINBOW のみなさん
体験人数：クラス単位◎ 学年単位○ 全校対象△
時間：1回90分程度



いじめ問題学習会

テーマ
【いじめ】

悪いことだとわかっているはずなのになくなる「いじめ」。そのメカニズムを考え、講師の経験や取組から、いじめを生まないために、また、いじめが起きた時にどうすべきなのかを考えます。

実施内容：いじめ自殺遺族、いじめ被害・加害経験者、ネット中傷被害者などの立場から、講師の体験談やいじめに関するお話

講師：小森 美登里さん(NPO法人ジェントルハートプロジェクト)、山崎 聡一郎さん(『こども六法』著者)、スマイリーキクチさん(タレント)
体験人数：クラス単位△ 学年単位◎ 全校対象◎(講師によって異なります)
時間：1回45分～90分程度

人と違うってどういうこと？

テーマ
【見た目によるいじめ、自己肯定感、ルッキズム】

生まれつきのアザ、事故や病気による変形、脱毛など「見た目」から偏見や誤解を受けやすい人たちが抱える問題について知り、自分らしい生き方について考えます。また、ルッキズム社会(外見が重視される世の中)との向き合い方や、自分らしい顔について考えます。

実施内容：見た目に症状のある人たちについてのお話、多様性を認め合える社会づくりについてのお話、自分らしい顔で自分らしい生き方を楽しむことについてのお話

講師：外川 浩子さん(NPO法人マイフェイス・マイスタイル)
体験人数：クラス単位◎ 学年単位◎ 全校対象◎
時間：1回45分～90分程度

多様な性ってなんだろう？

テーマ
【多様な性と多様性】

実施内容：LGBTQを含む多様な性に関する基礎知識、ReBitメンバーの話、多様性を尊重するためにできることを考えるワーク

講師：認定NPO法人 ReBit のみなさん
体験人数：クラス単位◎ 学年単位◎ 全校対象◎
時間：1回90分程度

アダプテッドスポーツを体験しよう！

テーマ
【障害のある人、パラリンピック】

現役選手やコーチを講師にむかえ、競技の体験や講話を通して障害や共生社会について学びます。

実施内容：ブラインドサッカー・車いすバスケットボール・ボッチャ・ゴールボール
競技の体験、講師(現役選手やコーチ)による講話など

講師：日本ブラインドサッカー協会、東京都車いすバスケットボール連盟所属チーム、株式会社CAC Holdings、フコクしんらい生命保険株式会社
体験人数：クラス単位◎ 学年単位○ 全校対象△
時間：1回90分程度



体験学習会 実施の流れ (一例)



オンラインプログラムについて

一部のプログラムはオンライン（リモート）でも実施が可能です。
保護者や地域の方々への公開授業にもご利用ください。
(通信機器及び通信環境は学校でご用意いただけます。詳細はご相談ください。)



1 体験学習会の内容を検討

- 対象（学年・人数）や形態
- 目的・ねらい（何を感じ、何を学んでほしいか）
- 学習テーマ・内容
- 日時（できるだけ複数候補日）・実施場所 など

なるべく具体的にご検討ください。
形態や内容はご相談いただくことも可能です。

※年度につき、1校1回（1プログラム）開催のため、
学校内で調整してください。

2 申込み

WEB フォームまたは、
Eメールで
お申し込みください。
詳細を確認後、
講師の都合を優先し、
開催日程順に順次、
調整を進め、
ご連絡します。

成立・決定

3 書類受取

【1ヶ月前～1週間前】
決定通知書等の書類を
お送りします。

※プログラムによっては、
事前に配布資料や備品を
メールや宅配便で学校へ
お送りすることがあります。

4 事前準備

【1週間前～前日】

書類にてお伝えした
機材や備品を事前に
ご準備ください。

※講師やセンター担当者と
事前に打ち合わせを行う場合も
あります。

5 体験学習会の実施

【学習会当日】

会場設営は授業開始までに
学校側で行ってください。
センター担当者も講師に同行し、
学習会運営の補助を行います。

※学習会の様子を写真・動画撮影する場合は、
事前にお申し出ください。

6 「結果報告」の提出

【学習会終了後、約1週間以内】

学習会の内容や結果をふまえて「結果報告」を
WEB フォームまたはEメールでお送りください。
(メールの場合は様式あり)

※学校独自で感想文やアンケート等を実施した場合は、
可能な範囲で、センターまでお送りください。
講師と共有し、今後の参考にさせていただきます。

開催校の声 (抜粋)



【教員】

今回の学習会で、LGBTQ や性の多様性という言葉
を初めて聞いた児童も多いと思います。
自認する性や好きになる性について悩む子どもたちも
いると思いますが、このような機会があると
「いろいろな性があることは当たり前のことなんだ」と
安心できると思うので、大切な授業だと感じました。
この授業で、一人でも多くの子どもたちが安心して
教員も含め、子どもたちが安心して相談できる
大人が増えたらいいなと思います。

多様な性って
なんだろう？
(小学校6年生)

【児童】

友達や家族にカミングアウト
されたら、今回教わったことに
気をつけて、相談に乗ってあげ
たいと思いました。自分には
何ができるのか考えたいです。

【児童】

生き方や考え方はみんな
ちがっていいし、
お互いを大切にするこ
とが大切だと思いました。

【児童】

実際に当事者のお話を聞いたり、
動画を見たりすることができたのが
よかったです。ワークを通して、
「ふつう」や「あたりまえ」は
人それぞれちがうことがわかりました。

【教員】

事前に打ち合わせをさせていただいたので、
生徒達の様子も分かった上でのお話でした。
分かりやすいスライドや、当事者の方々のお話などがあり、
実際に「見た目」についての問題や
どのように接していったら良いかなど、
生徒達に伝わっていました。貴重なお話が聞いて良かったです。

【生徒】

講演の中で一番印象に
残っているのは、
「人を傷つけるのも人の言葉で、
人に勇気を与えたりするの
も人の言葉」というところです。
本当にそうだなと思いました。

人と違うって
どういうこと？
(中学校1・2年生)

【生徒】

自分は、友達から見た目や外見で
傷つくようなあだ名を言われたりし、
たくさん「学校なんかいきたくない」など
思ってきました。ただ、講演を聞き、
私より苦しくつらい人たちでも
楽しい人生を送れていることがわかり、
自分を見直す1つのチャンスになりました。